

国立病院機構南岡山医療センターにおいて、
2011年8月1日から2011年11月30日の間に
呼吸機能検査を受けられた方へ

「He閉鎖回路法と体プレスチモグラフ法による機能的残気量の比較」へのご協力をお願い

研究機関名 国立病院機構 南岡山医療センター
研究機関長 谷本 安
研究責任者 国立病院機構 南岡山医療センター 臨床検査科 櫻井 紗絵

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

肺機能検査の一つに機能的残気量があり、慢性閉塞性肺疾患などの患者様の肺機能検査評価法として利用されています。機能的残気量の測定法は数種類あり、当院ではHe閉鎖回路法と体プレスチモグラフ法の2種類を行っています。

本研究は、He閉鎖回路法と体プレスチモグラフ法でそれぞれ測定した機能的残気量の検査数値の違いについて検討しました。

2. 研究の方法

1) 研究対象

国立病院機構南岡山医療センターにおいて、2011年8月1日から肺機能検査を受けられた方のうち、He閉鎖回路法と体プレスチモグラフ法の両測定法により機能的残気量を測定された方。

2) 研究期間

2018年7月倫理委員会承認後～2019年3月31日

3) 研究方法

2種類の機能的残気量測定を行い、患者様から得られた情報や検査結果との対比を行います。

4) 使用する情報

年齢、性別、体格（身長、体重）、病歴（喫煙指数）、機能的残気量測定結果。

この研究は氏名・生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので御了解ください。

3. お問い合わせ先

この研究に御質問等がありましたら下記の連絡先まで、お問い合わせ下さい。また、対象となる御家族の試料・情報が研究に使用されることについて御了承いただけない場合には研究対象としますので、2018年7月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にも不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

国立病院機構南岡山医療センター
担当者：管理課 建部 宏明
電話：086-482-1121（平日：8時45分～17時15分）
ファックス：086-482-3883